

ワタノメイガ

ムクゲにつく淡緑色のハマキムシ（幼虫）。最大長約25mm。葉を筒状に巻いて食べる。

本州ではムクゲに多発し、丸坊主にすることがあるという。



1. 幼虫，体長22mm。1999/9/1。美唄市，ムクゲ。 2. 1の幼虫の巣。

【学名】 *Natarcha derogata*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) ， メイガ科 (Pyraidae)

【生態】

寄主：ムクゲ， キリ， アオイ， タチアオイ， ワタ， フヨウ， オクラ， アオギリなど。

幼虫で越冬する。幼虫は春から秋の間に3回発生する。葉を縦の筒状に巻く。成虫である蛾は5～9月に出現する。卵は葉裏に1個ずつ産まれる。

【被害と防除】

北海道では比較的普通にみられるが、これまで多発は記録されていない。防除は必要とされない。

幼虫の巣は比較的につけやすいので、気が付いたら取り除く。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ワタノメイガ meiga/watanome/
kaiset.html

「文章」 原秀穂，北海道立林業試験場，2001/8/10.

1yochu.jpg, 1yochusu.jpg

「写真1～2」 原秀穂，北海道立林業試験場，1999.